

平成23年度大野南地区地域活性化事業交付金

No. 1

申請事業名	境川の道正山河畔林整備事業
申請団体	境川の道正山河畔林を守る会
事業目的	境川の道正山河畔林を緑豊かな自然林に戻し、次世代に引き継ぐ。
交付決定日	平成23年6月20日
交付決定額 (事業費)	45,000円(決算45,119円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道正山河畔林での作業(通年)                清掃・植栽                作業面積の拡大(前年比130%)                幼木の育成(150cm)(榎木、しだれ桜など)</li> <li>・境川水質調査(6月)</li> <li>・境川クリーンアップ作戦への参加                全7会場のうち、1本桜会場を担当し、桜美林大学生(100名)                と清掃活動を実施(7月)                シンポジウム(桜美林大学)への参加(10月)</li> <li>・道正山だよりの発行(6月・12月)</li> <li>・会員の増加(49名→51名)</li> </ul>
市評価	<p>荒れた道正山斜面を整備し、緑豊かな自然林に戻し、次世代に引き継ごうとする会の活動は、地域の環境美化、住民の環境保全意識を高めるために効果的な事業となっている。</p>
備考	

申請事業名	第2回相模大野かぼちゃまつり
申請団体	相模大野かぼちゃまつり実行委員会
事業目的	「相模大野ハロウィンフェスティバル」とのコラボレーションにより、子どもから大人まで世代を超えて楽しい思い出がつけられるような市民参加型の体験イベントの実施により、活気あるまちづくりの一助となる。
交付決定日	平成23年6月20日
交付決定額 (事業費)	500,000円(決算2,446,312円)
団体実績報告	<p>第2回相模大野かぼちゃまつりの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特設ステージ、パフォーマンスエリア パンプキンパイ大食いコンテスト ベストドレッサーコンテスト</li> <li>・子どもワークショップ(職業体験)</li> <li>・かぼちゃ専門屋台、味自慢屋台、体験エリア ジャック・オー・ランタン英語で手作り体験教室</li> <li>・来場者約23,000人。秋のイベントとして周知を図った。</li> </ul>
市評価	<p>地域の活性化には商業の活性化が不可欠である。</p> <p>地域の団体自らがイベントを開催し、多くの観客を動員することは商業(地)及び地域の活性化を図るために効果的な事業となっている。</p> <p>今年度、充実を図った子どもや家族を対象にした職業体験などのイベントは、多世代交流や子どもたちの健全育成に寄与するものとする。</p> <p>今後、新たな試みや出店者の増加による事業の成長とともに、さらに地域を活性化させ、地域住民から長く愛されるイベントとなることを期待する。</p>
備考	

申請事業名	みなみシティガイドボランティア養成事業（２年度）
申請団体	相武歴史研究会
事業目的	シティガイドボランティアの育成・情報発信により、多くの市民に地域の歴史や文化・観光資源を知っていただくことにより地域の魅力を再発見し、愛着を持ってもらう。
交付決定日	平成２３年９月１日
交付決定額 (事業費)	１２２，０００円（決算１２２，９４４円）
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を掘り起こすために、歴史的文化遺産や産業施設等を巡る５つの探訪コースを設定し、史跡や施設等について調査・研究し、その成果を小冊子にとりまとめた。</li> <li>・探訪コースごとに一般参加者を募集し、ガイドを（模擬）実施をした。</li> </ul>
市 評 価	<p>高齢化等により地域の歴史・文化を伝える人材が不足しているといわれている中で、地域住民が地域の歴史・文化・観光資源を知り後世に伝えていくガイドボランティアを養成していくことは、地域の文化・伝統の振興、地域の担い手育成に効果的な事業となっている。今年度の取り組みのうち、一般市民を対象にしたガイドの模擬体験については、将来的なガイドボランティアの活動に繋がるような事業展開を期待する。</p>
備 考	

申請事業名	多世代および隣接地域住人交流の場創設事業
申請団体	自治会法人御園二丁目自治会
事業目的	自治会活動の活性化 隣接地域も含めた地域住人の多世代交流の場の創設 演奏者・参加者の意見交換会を中心に日本の文化・芸術を題材に鑑賞及び文化・伝統を学びながら、地域の求心力を高める。
交付決定日	平成23年9月1日
交付決定額 (事業費)	210,000円(決算231,461円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会及び津軽三味線鑑賞会の実施(参加者92名)</li> <li>・意見交換会及び落語鑑賞会の実施(参加者85名)</li> <li>・申請自治会員だけでなく、隣接地区・自治会の住民も対象に開催した。</li> <li>・津軽三味線の演奏者は東日本大震災の被災者であり、東北大学の学生2名も含め、震災からの復興を題材に意見交換会を行った。</li> <li>・落語鑑賞会での意見交換会では「笑いの重要性」をテーマに意見交換会を行った。</li> </ul>
市評価	日本の文化・芸術の鑑賞を契機に申請自治会員だけでなく、隣接地区・自治会の子どもから高齢者までを対象に交流会を行うことは、地域福祉の増進、青少年の健全育成、地域のコミュニティづくりに効果的なものとなっている。
備考	

申請事業名	平成23年度新春おやこ映画会
申請団体	平成23年度新春おやこ映画会実行委員会
事業目的	講話により、青少年の健全育成に対する地域の関心を喚起させるとともに、南市民ホールでの映画鑑賞を契機に、子どもたち同士及び子育てをしている親同士の交流会を行い、子どもたちの健全育成に寄与する。
交付決定日	平成23年11月29日
交付決定額 (事業費)	159,000円(決算159,000円)
団体実績報告	映画「ガリバー旅行記」の上映及び参加者交流会の実施。 参加者：午前の部175名 午後の部148名 計323名 新年に学校及び公民館が連携して映画会を実施し、学年を超えた地域の子どもたちや親が集うことで、鑑賞マナーの向上、参加者の交流が図られた。
市評価	映画を鑑賞するだけでなく、映画会の開催を契機に子どもたちへの鑑賞マナーの指導や子ども同士、子育てをしている親同士の交流会を実施することは、青少年の健全育成や地域のコミュニティづくり、地域福祉の増進に効果的な事業となっている。
備考	

申請事業名	地域情報紙発行事業
申請団体	ここずっと
事業目的	市民が発する情報を紙媒体で発行することによる地域コミュニティの再構築と活性化。自治会などの市民活動団体との連携による地域コミュニティの創出。
交付決定日	平成24年1月19日
交付決定額 (事業費)	340,000円(決算353,319円)
団体実績報告	地域情報紙「ここずたうん創刊準備号0号」の発行(10,000部)。
市評価	<p>自らが取材をし、市民目線で情報紙を編集・発行する取り組みは、地域(活動)の情報発信及び広報による地域活性化に効果的な事業となっている。</p> <p>今後は、読者の地域活動への参加を促すような紙面づくりを期待したい。</p>
備考	

申請事業名	大野南地区自治会加入促進事業
申請団体	大野南地区自治会連合会
事業目的	平成23年3月11日の東日本大震災を契機に地域のコミュニティ・きずなが見直されていることから自治会の魅力や活動のPRを行うとともに、自治会加入案内・相談の体制を整え、加入手続きの簡素化により自治会加入促進を図る。
交付決定日	平成24年1月19日
交付決定額 (事業費)	360,000円(決算360,000円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動PR・加入促進チラシの作成(2,000部)、ジャンパー(15着)、のぼり旗(10枚)作成</li> <li>・加入促進キャンペーンの実施</li> </ul> <p>平成24年3月23日相模大野駅北口ペDESTリアンデッキにおいて自治会連合会と南区役所合同で、上記チラシ1,200部を配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望する自治会に対し上記チラシを配布し、単位自治会による加入促進活動を実施。(11自治会550部)</li> </ul>
市評価	東日本大震災を契機に地域のコミュニティ・きずなが見直されている好機をとらえ、自治会の魅力や活動のPRを行うことは、交付目的の重要項目である自治会加入促進に効果的な事業であるが、単発的な活動では効果が見えにくいものであるため、今後も継続的な実施が重要であるとする。
備考	

申請事業名	自転車交通安全啓発事業
申請団体	大野南地区まちづくり会議交通部会
事業目的	学校・地域・警察・行政等で合同キャンペーンを行い、交通安全啓発を行うとともに、団体間の連携強化を図る。
交付決定日	平成24年1月19日
交付決定額 (事業費)	543,000円(決算543,000)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"><li>・啓発物品の配布(2,000個)</li><li>・スケアード・ストレイトの実施</li></ul> 平成24年3月15日上鶴間高等学校校庭において、1学年の生徒(280名)及び地域住民を対象に実施した。
市評価	学校・地域・警察・行政等が合同でキャンペーンを実施し、スタントマンによる交通事故の再現を生で見せることは、自転車交通安全意識の高揚に効果的な事業であり、区の重要課題の解決につながるものである。
備考	

申請事業名	インターネット番組の制作及び配信による地域活性化事業
申請団体	さがつく！プロジェクト
事業目的	相模大野を中心とした情報を発信することでまちの魅力づくりに貢献し、市民にまちを再認識してもらい、番組と視聴者の情報のやり取りなど新しい情報発信の形を目指す。
交付決定日	平成24年1月19日
交付決定額 (事業費)	300,000円(決算302,024円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・番組の配信(2/1、3/1) 相模大野の店舗を取り上げた番組企画を実施。 相模大野駅西側再開発のイベントに参加、取材を行った。 タウンネーミング「ポーノ相模大野」の発表会では、動画での取材を行い、撮影素材はJ:COMの情報番組へ提供されている。</li> <li>・タウンニュース南区版で番組が2回紹介されるなど、相模大野のインターネット番組として周知されてきている。</li> <li>・グリーンホール相模大野での公開収録の実施(3月)。</li> <li>・今後は、市民が参加できる生放送番組を目指し、活動を続けていく。</li> </ul>
市評価	<p>インターネットを活用し、地域の情報を発信するという従来にない取り組みである。</p> <p>地元商店会、テレビ局、行政との日常的な情報交換やテレビ局との映像媒体の共有使用など、地域の情報を伝えるためのネットワークづくりに取り組んでいる。</p> <p>さらに番組が広く認知され、地域に根ざした長く愛される番組となることを期待する。</p>
備考	